

2023職場体験 感想文コンクール

タイトル	支え合って成り立つ	事務局	704
学校名	酒田市立東部中学校	氏名	佐藤 さくら

私が体験した仕事は日常生活を営むために必要な介護サービスを利用者の心身の状況に応じて提供するような介護関係の仕事です。

この仕事は介護員、看護師、理学療法士、管理栄養師、調理員、生活相談員、ケアマネージャー、事務員の八つの職種職員が互いに連携をとって利用者さんの生活を支えています。

私が実際に体験した事は、車椅子の乗り方と押し方や高齢者の立ち場を考えるための高齢者体験をしました。高齢者体験は高齢者の体を実感するため実際に体に重い物を付けて輪投げをしました。私はその体験をしてみても高齢者の体は重く、脳かどのような行動をしたいと考えていても、思うように体が動かなかったり怪我をしやすくなるような体でした。

介護する側は思い通りにいかないと感じ的になってしまったり、介護を面倒だと思ってしまう事もあると思いますが、改めて高齢者の立場になり考えてみると、自分の体が思うように動かないのは自分自身が一番辛く受けとめていると考えしまい、高齢者体験をして自分の祖母と祖父が不自由な体になってしまった時の介護や接し方など自分がどうしなければいけないのか考えさせられました。この仕事の魅力は人から感謝されやりがいを感じる事だと聞きました。それを聞いて私は利用者さんは沢山の職種の職員に支えられ生活が成り立っていて、職員の方々は利用者さんの感謝があるから仕事にやりがいを感じ仕事を頑張る事ができ、互いに支え合っているんだなと思い自分がこの仕事に就くかは分からないけど、私が将来したいと思う仕事は介護を体験した時のように誰かと接する事によってお互いが支え合っていると実感でき、やりがいのある仕事をしたいです。私にとって働くとは人間が人生において感じる事が多い「辛い」だったり、「楽しい」だったり、そういった感情が多く揺らぐ事だと捉えています。ですが、感情が揺らぐ中でこなしている仕事は誰かがやらなければ成り立たないと思います。将来自分がどんな職に就いたとしても「自分が居なければ成り立たない」と思うと誇りを持つと思っています。

将来、誇りが持つ働きをします。